



新春かるた

1月4日(金)今年最初の活動は、「かるた」でした。字を読む子が多くなってきましたし文字が読めなくても絵を見ての対応も可能です。それに、ある程度、体を動かすこともできます。何より、みんなでできるお正月らしい遊びということで「かるた」が採用されたようです。今年になって初めて挑戦する、カルタ取りにみんな興味津々でした。



初給料!

12月25日、記念すべき姿を見ることができました。生活介護の利用者の初給料、初工賃が支給された日です。秋口から取り組んできた折り染めの作品で作ったポチ袋を販売したのです。1枚50円で100枚。地域の方から頂いたストラップもおまけで付けました。放デイの子が作ったPR文も効果的でした。水梨キッズかふえの場でも好評でした。なんと100枚完売することができました。というわけで、人生初の工賃収入です。二人とも自慢げに写っています。



寒さに負けず…さんぽ

今年の冬休みは特に寒い日が続いています。しかし、運動量を確保したいという思いと、外に出たいという気持ちが重なり、連日の散歩が続いています。上は1月5日、下は1月6日の写真です。元気一杯。



門松づくり

生活介護事業が主になって、昨年末に門松づくりを行いました。放課後等デイサービスの子もたちも積極的に手伝いました。竹を切ったり、松を付けたり、さらに、南天まで飾る本格的な門松が完成しました。土台の部分には、生活介護の利用者が作ったちぎり絵を使用しています。門松はいっぽの玄関、子どもたちが出入りする、校庭側の昇降口に飾ってあります。一度ご覧下さい。



ミニ看護師さん?

いっぽにはいろいろな子どもたちが通ってきています。児童発達支援は、まだ小学校に入学する前の子どもたちが対象です。年齢的に小さい子どもたちですが、いっぽの一員です。小学生の中には、お世話をやく子どももいます。酸素ポンペを運んだり、話しかけたりとその熱心な姿はまるで本物の看護師のようです。世話される方も嬉しいみたいで、笑顔はもちろん、大きな声を出して喜びます。それに気を良くしたのか、昼食も一緒です。食欲も進みます。みんなでお助け合っている感じがします。みんな違ってみんないい。



抗原検査

いっぽでは、毎月定期的に、職員全員の抗原検査を実施しています。これは、宮城県に申し込んで毎月2回報告しているものです。もちろん検温や手指の消毒等も実施していますが、職員全員で感染予防に取り組んでいます。早期収束を願います。



まゆ玉づくり

今年も地域の方から、まゆ玉の材料とミズキの枝が届きました。まゆ玉は小正月にミズキの枝に餅などを飾り付けて、豊作や無病息災を祈る行事です。餅の代わりに紙粘土を使いますが、効果は同じだと信じています。1月10日のお楽しみ会でみんなで作成して持ち帰りました。いっぽには、みんなで作ったちょっと大きめのまゆ玉の木が飾ってあります。



児童福祉施設における防犯講習会

1月6日、気仙沼市主催の講習会に参加してきました。すぐ近くの登米市のこども園にも刃物を持った人物が侵入する事件がありました。いっぽは広い敷地にある校舎を使用しているので気を付ける必要があります。「見えにくい・入りやすい場所は危険」「声をかけることが大事」等のことを研修してきました。また、校舎に備え付けられている「さすまた」の使い方も教わりました。組織で対応できるような態勢をつくるつもりです。

